

一筆啓上

作左通信



第一一五号 令和四年十月十五日(土) 発行

「どうする 家康」

六ツ美西部小学校 校長 寺島 真澄

「校長先生『まつじゅん』に
六ツ美西部小学校に来て
もらおうよ。」

令和四年四月、六年生の
児童が校長室を訪れると、
こんな言葉を口にした。

令和五年一月から岡崎の
雄・徳川家康公の七つの決
断にスポットを当てたNH
K大河ドラマ「どうする家
康」が始まるとアナウンス
されてから一年余り。キャ
ストの全容も少しずつ明ら
かにされ、主人公の家康公
役に、人気グループ「嵐」に

所属する松本潤氏が主役に
抜擢され、ドラマの制作に
向けて、にわかに話題が膨
らんだ。

本校は、徳川家康公に仕
え、三河三奉行の一人とし
て家康公を支えた家臣「本
多作左衛門重次」を地域の
先達として、功績を後生に
伝えていく。重次のことを
書籍で調べると、その業績
の中でも「三方ヶ原の戦い」
で敗戦し浜松城に戻った家
康公を救った「先見性をも
つ知将ぶり」を大いに称賛

している。また、長久手合戦
の際に石川数正が豊臣家に
出奔し、徳川家の戦略が流
出し敗戦濃厚になったとき
も、要となる岡崎城を守つ
たと伝えられている。重次
は勇将であり、行政・財政に
明るい。まさに、徳川家の宝
であった。

大河ドラマにおいて、重
次のことが取り上げられる
か否かは分からない。しか
しこれを機に、我が市の宝
「徳川家康」を地域活性化
も視野に入れて、改めて身
近な存在としようと、岡崎
は力を注いでいる。そこで、
六ツ美西部小学校も家康公
を話題の中心としたお昼の
番組を、給食の時間に放映
しようとして計画している。そ
れが、写真に写る六年生が
企画する「どうする家康・友
の会」である。この児童たち

こそ、四月「まつじゅんを岡
崎に：」と、申し出てくれ
た六年生である。
番組は、六年生が考えた
「家康クイズ」「似顔絵ギ
ャラリー」を予定している。
十二月まで、五回程度の放
送で、全校児童に楽しく徳
川家康公について伝えられ
たらと願っている。



作左の会 検索